

桑中学校 いじめ対策アクションプラン



学校経営方針

～すべての教育活動は生徒のためにあるという視点に立ち～

- 新しい時代に即応した教育と古くからある教育の良さを生かした調和のある教育計画を策定する。
- 教育活動の中心に生徒も教師も「授業で鍛え、行事で育てる」をおき、全校あげて計画的・継続的に展開する。
- 本校教育の推進に当たっては、組織的、計画的及び系統的に推進する。そのための、全教職員による学校経営参画の意欲向上を図り指導体制を確立する。

(3) 教職員一人一人が資質・能力の向上を図るとともに、すべての教育活動の基盤として、心の教育と生徒指導を重視した指導体制を確立する。

【教育は人なり】

(6) いじめ、不登校、生命、人権等にかかわる問題に対して、全職員が危機意識をもって組織的継続的に対応するとともに予見に心がけ、未然防止、早期発見、早期解決を図る。

【安全の保証、危機管理】

(4) 生命尊重・人権尊重の精神の涵養を教育活動の基盤に据え、基本的な生活習慣や学習習慣を身につけさせることで、節度、思いやりの心、豊かな人間関係等を醸成していく。

【学年学級経営】

(2) 生徒一人一人が自己肯定感や自己有用感を感じることができ、笑顔があふれるような学級、学年経営を実践していく。

【成長の保証】

本年度の努力点

(7) 生徒指導の充実（積極的な生徒指導）

- ・ 基本的な生活習慣確立に努める。
- ・ 生徒保護者に寄り添いながらも温かさと厳しさの調和のとれた「チーム桑中」として、組織的な指導体制を整備充実させた生徒指導に努める。
- ・ いじめ、不登校に対して未然防止と適切な初期対応に努める。
- ・ 学校行事や学級、学年指導を通して自校に誇りと愛校心をもち、自ら環境整備や自分の学校をきれいにすることができる生徒を育てる。
- ・ 基本的な生活習慣や集団生活のルールの意識化、定着を図るための継続的で粘り強い指導に努める。（学校行事や集会、朝会を生かした指導の推進、家庭との連携）
- ・ **チーム桑中**として、**組織的な指導体制の整備・充実**に努める。

取り組む上での留意点

- ① 校長、教頭からの具体的な指示（朝の打ち合わせ、職員会議等） ※いじめ対策委員会の発足
- ② 生徒指導部会（いじめ・不登校対策委員会）の開催（週1回）と生徒に関する情報交換
- ③ いじめ・不登校・教育相談に関する職員研修の開催
- ④ 休み時間・昼休みの関わり「可能な限り生徒とともに過ごす」「生徒の活動のあるところに職員が目」
- ⑤ いじめの疑いのある事案に対する早期対応と組織的対応、確実な事実把握に努める。
- ⑥ いじめ未然防止に向けた取組の実践「生徒主体の学校行事を通して」**「ガイダンス機能の充実」**



本校職員の勤務指標

- 一 「チーム桑中」として、組織的に対応する教職員
- 二 個性を生かし「協働」できる教職員
- 三 生徒の良さを褒めて伸ばすことができる教職員
- 四 生徒理解に努め、生徒に寄り添った指導のできる教職員
- 五 人として親切な対応ができる教職員
- 六 「授業で鍛え、行事で育てる」を合言葉に、生徒と共に成長する教職員
- 七 温かさと厳しさの調和のとれた指導のできる教職員

いじめ未然防止に向けた取組の例

生徒理解とその生徒に合った生徒指導 ①生徒に寄り添う ②温かさと厳しさの調和のとれた指導〈大らかに厳しく〉 ③基本的な生活習慣の徹底

いじめが起きにくい・許さない環境、雰囲気づくり（各学級学年・各部活動） 風通しのよい職場づくりの推進 地区別懇談会 教育相談の充実

QU（検査実施・職員研修） いじめアンケートの実施（月1回） 人権週間（人権標語、人権講演会、人権アンケート） 三者面談 学校ホームページの活用

いじめ防止強調週間（いじめ防止標語の作成・掲示、各部のミーティング、「各部の約束」づくり、いじめゼロこどもサミットへの参加・報告）